



座間市議会だより

No.124
平成15年5月15日
発行 座間市議会
編集 議会だより編集委員会
座間市緑ヶ丘1-1-1
電話046(255)1111(代表)
本紙は100%再生紙を使用しております



今日から一年生 (154 東原小学校にて)

十五年 度 算 総額576億円を可決

福祉・環境・防災を二本柱に

3月定例会

三月定例会は二月二十六日に開会し、市長提出議案四十二件、議員提出議案十二件、陳情十三件を審議し、三月二十四日に閉会しました。この議案では、平成十五年の市政を決める当初予算案や、介護保険料の六段階方式導入などについて活発な意見交換が行われました。また、選挙管理委員会委員・同補充員の選挙が行われました。

平成十五年度予算は、三月二十四日の本会議で決定しました。一般会計と特別会計・公営企業会計を合わせた予算額は、五百七十六億三千二百一十二万二千円です。前年度に比べ二・五割の増となっており、率にして二・四割の増であり、厳しい

社会情勢の中で、地方分権にふさわしい、簡素で効率的な行政システムを確立するため、量から質への転換、費用対効果の的確な把握等を基本に置いた予算となっております。議会では、所管の常任委員会に付託し、審査いたしました。概要は次のとおりです。

一般会計
歳入では、全体の五二・一割を占める市税が百六十一億七千六百六十九万二千円、前年度に比べ二・二割の減となりました。内容としては、個人市民税の納税義務者数は増加しているものの長引く景気低迷のため個人所得の減少を見込み、また今年度は固定資産税の評価替えの年であり、特に在来家屋評価額の減価率を見込み減収となっております。国庫支出金については、国民健康保険基金については、国民健康保険基金安定負担金や児童扶養手当負担金等の増額により前年度に比べ二・五割増の二十九億七千九百二十八万七千円となりました。市債については、地方交付税の一部が臨時財政対策債に振替措置されたことなどにより前年度比三二・一割増の二十六億二千九百九十九万二千円となりました。

歳出では、民生費の構成比が二七・九割と昨年に引き続き最も高く、八十六億四千八百六十二万二千円、前年度に比べ六・〇割の増、衛生費の構成比が二二・二割で三十七億八千九百六十三万五千円、前年度に比べ七・二割の増、公債費の構成比が二・七割で三十九億三千六百六十三万二千円、前年度に比べ五・八割の減、教育費の構成比が一・五割で三十五億五千五百三十三万八千円、前年度に比べ七・四割の減となりました。

主な事業は、市民が健康で快適なまちづくり施策として健康文化都市大学開催事業、コミュニティバス運行推進事業、ごみ減量化及び資源化の推進として商店街へのごみ減量処理機リース事業及びマイバックの貸し出しによるごみ減量化事業、小・中学校扇風機設置事業、インターネットによるスポーツ施設予約システムの導入、公立保育園の延長保育の実施、高齢者福祉事業として多様な在宅サービス提供、介護保険料の六段階方式の導入、座間市休日急患センターを拠点とする小児救急医療体制の開始などとなっております。

審査の過程では、地方交付税が減額され、臨時財政対策債での対応となり償還財源が交付税措置されることに関して、環境面からISO14001関連で対象の範囲を庁舎以外の他の公共施設に拡大することについての展望、新たに障害福祉支援費制度が四月からスタートすることに伴いその基本となる施設サービス整備状況、住民基本台帳カードシステム開発費と実際の利便性の費用対効果と今後の利用拡大について、教育関係では少人数学級の必要性と問題点等についてあらゆる角度から積極的な論議がされました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

経営努力で水の安定供給 水道事業

水道事業会計

予算総額は、三十億七千七百八十八万二千円、前年度に比べ二・九割の増です。本年度は受水費の増と神奈川県内広域水道企業団の単価改正がされ、基本料金が本事業分と

費をどうみているのかなどについて論議され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

国民健康保険事業特別会計

予算総額は、九十六億九千八百六十六万二千円、前年度に比べ二・三割の増となりました。国民健康保険事業は、厳しい社会情勢等を背景に、加入世帯や被保険者の増加が続いており、加えて高齢化、医療技術の高度化等による医療費の増加、平成十四年度の医療制度改正による老人医療対象年齢の段階的引き上げなどにより、財政運営上厳しい状況にあります。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

公共下水道事業特別会計

予算総額は、四十八億八千四百八十六万九千九百九十九円、前年度に比べ二・三割の増です。公共下水道事業は、昭和四十八年に、事業に着手して以来三十年余が経過し、整備率は市街化区域の約八五・四割となりました。

本年度は、事業認可区域内の汚水管整備の促進を図るため前年度に引き続き、相武台・緑ヶ丘地域を中心に整備を進めます。また、都市型の浸水解消を目的とした雨水管整備を図るべく、座間・栗原・ひばりが丘地域で整備工事を実施、本年度は約八九・五二割の整備率となる見込みです。

介護保険事業特別会計

予算総額は、二十九億四千八百九十九万三千円、前年度に比べ一・〇割の減です。本年度から第二期介護保険事業計画がスタートすることにより、居宅介護及び施設サービス事業等の充実と円滑な運営を図ります。さらに今年度より低所得者層の負担を軽減する必要性から介護保険料の六段階方式が導入されました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

審査の過程では、国保税滞納者への取り組みとして今年度より収納嘱託員を採用し、収納強化を図る旨の説明が

本年度は、事業認可区域内の汚水管整備の促進を図るため前年度に引き続き、相武台・緑ヶ丘地域を中心に整備を進めます。また、都市型の浸水解消を目的とした雨水管整備を図るべく、座間・栗原・ひばりが丘地域で整備工事を実施、本年度は約八九・五二割の整備率となる見込みです。